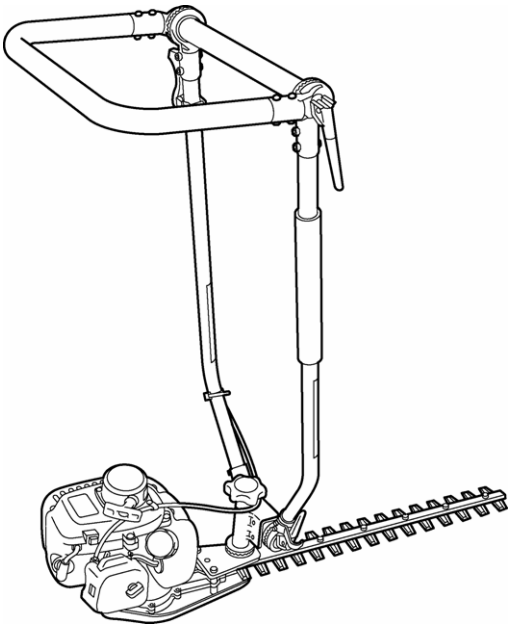
115477679 (E0/A1203)

ZENOAH®

ゼノア畦草トリマ 取扱説明書

RHT2310



※この製品を使用できるのは日本国内のみで、国外では使用できません。
＊This product is designed for domestic use in Japan only and cannot be used in any country.

警告 ⚠	● この取扱説明書には製品をご使用いただく上で、事故を防ぐ重要な注意事項と製品の取扱い方が示されています。この取扱説明書を良く理解した上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。 ● 電気関係部品は安全のため注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

操作装置のシンボルマーク

運転操作および保守管理のために、操作装置のシンボルマークが使用されています。
これらの表示に従って**誤操作のないよう**ご注意ください。

マーク表示部位	図　柄	意　　味
燃料タンクキャップ		使用燃料の種別が「混合ガソリン」であることを表わします。
エアクリーナカバー		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが閉じることを示します。
		このマークの方向にレバーを操作するとチョークが開くことを示します。

はじめに

このたびはゼノア製品をお買い上げいただき誠にありがとうございました。

この取扱説明書は、製品の正しい取扱い方法、簡単な点検および手入れについて説明しています。

ご使用前によくお読みいただいて十分理解され、お買い上げの製品が優れた性能を発揮し、かつ快適な作業をするためこの冊子をご活用ください。

また、お読みになった後必ず大切に保存し、分からないことがあった時には取り出してお読みください。なお、製品の仕様変更などにより、お買い上げの製品とこの説明書の内容が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

⚠安全第一

本書に記載した注意事項や機械に貼られた ⚠ の表示がある警告ラベルは、人身事故の危険が考えられる重要な項目です。よく読んで必ず守ってください。

なお、警告ラベルが汚損したり、はがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、必ず所定の位置に貼ってください。

■注意表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取扱い上の注意事項について次のように表示しています。

⚠ 危険	： 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
⚠ 警告	： 注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
⚠ 注意	： 注意事項を守らないと、けがを負う恐れがあるものを示します。
重要	： 注意事項を守らないと機械の損傷や故障の恐れがあるものを示します。
補足	： その他、使用上役立つ補足説明を示します。

目　　次

⚠ 正しくお使いいただくために……1

警告ラベルとその取扱い……5

サービスと保証について……6

製品主要諸元……7

各部の名称……8

標準付属品……8

組立

エンジンの取り付け……9

ハンドルの調整……10

燃料……11

給油……12

エンジンのかけかた……13

エンジンのとめかた……15

操作方法……15

点検整備

作業前後点検……17

定期点検……17

刈刃の手入れ……18

ギヤケース……19

エアクリーナ……19

燃料フィルタ……19

スパークプラグ……20

冷却用空気通路……20

100時間使用毎の手入れ……21

エンジンの調整……21

長期保管時の手入れ……22

故障のときは……23

⚠ 正しくお使いいただくために

本製品をご使用になる前に、この取扱説明書をよく読み理解した上で正しく取扱ってください。快適に作業をするため、ぜひ守っていただきたい注意事項は下記の通りですが、これ以外にも本文の中で「⚠ 警告サイン」として説明のつど取り上げております。

■ 製品をお使いになる前に

●ご使用前にこの取扱説明書をお読みになり、製品の機能と取扱い上の注意事項をよくご理解ください。

●本製品は樹木の枝葉の剪定を用途として設計されています。不測の事故を招く恐れがありますので、本来の用途以外の目的には使用しないでください。

●本製品は鋭利な刃物を装備しているため、操作を誤ると非常に危険です。疲労などで体調が悪い場合や、カゼ薬服用時、飲酒後など、正常な判断と的確な操作が出来ない恐れがある場合は、本製品を使用しないでください。また、本書の内容が理解できない人や子供には絶対に使わせないでください。

●エンジンの排気ガスには人体に有害な一酸化炭素が含まれています。屋内やビニールハウス、トンネル内など、通気の悪い場所では本製品を使用しないでください。

●次のような場合はお使いにならないでください。

① 足元が滑りやすいなど、安定した作業姿勢の保持が困難な場合

② 霧や夜間など、作業現場周辺の安全確認が困難な場合

③ 天候悪化時（降雨、強風、雷など）

●初めてお使いになる場合は、実作業に入る前に安全な場所で試運転し、製品の取扱に習熟してください。

●疲労が重なると注意力が低下し、事故の原因となります。作業計画にはゆとりを持たせ、1回の連続作業時間は30～40分を限度とし、10～20分の休憩を取ってください。また、1日の作業時間は2時間以内としてください。

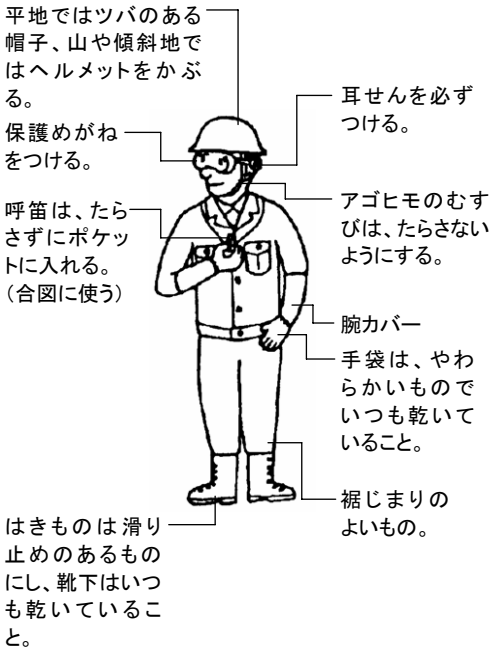
●この取扱説明書は必ず保管して、分らないことがあった場合など必要に応じてご参照ください。

●小さいお子様の手の届くところに保管しないでください。

●本製品を譲渡または貸与する際は、この取扱説明書を必ず添付してください。

正しくお使いいただくために

■ 使用時の服装・装備



●本製品をお使いになる際は、屋外作業にふさわしい服装を整え、次の用品を着用してください。

① 長袖長ズボンで厚手の作業服
②作業帽子（傾斜地作業時はヘルメット）
③保護めがねまたは顔面防護ネット
④ 厚手の丈夫な作業用手袋（革製など）
⑤ 滑りにくい丈夫な保護長靴（先芯入り）
　または滑りにくい安全な靴（先芯入り）
⑥ 耳せん（特に長時間作業時）

また、次の用品を携行してください。

① 製品付属工具および目立てヤスリ
② 適切な容器に入れた燃料
③ 刈刃汚れ落とし用ワイヤブラシ

●裾じまりの悪い衣服や裸足、サンダル、草履などでの作業はしないでください。

■ 燃料に関する注意事項

●本製品のエンジンは、引火しやすいガソリンを含む「混合ガソリン」を燃料としています。焼却炉、バーナー、たき火、かまど、電気スパーク、溶接火花など、引火の恐れがある場所では、燃料の補給をしたり燃料容器を保管したりしないでください。

●くわえタバコでの作業や燃料補給は危険です。絶対にしないでください。

●燃料の補給や保管容器への注入作業は屋外の平坦な場所で行ってください。
通気の悪い屋内で給油作業をすると気化した燃料に引火する恐れがあります。

●使用中に給油する場合は、必ずエンジンを停止し、周囲に火気がないことを確かめてから燃料を補給してください。

●給油後は、燃料容器を密閉してから、3m以上離れた場所でエンジンを始動してください。

●給油時に燃料がこぼれた場合は、エンジンをかける前に、機体に付着した燃料を完全にふき取ってください。

正しくお使いいただくために

■ 使用前の注意事項

●作業を始める前に現場の状況（地形、刈り払う草の性質、障害物の位置、周囲の危険度など）をよく確かめ、移動可能な障害物は除去してください。

●作業者から15m以内を危険区域とし、この中に人が立ち入らないよう標識ロープで囲む、立て札を立てる等の警告表示をしてください。また、数人で共同作業を行なう場合は、緊密に合図しあうなどして常に安全間隔を確保してください。

●作業を開始する前に機体各部を点検し、ねじ類のゆるみ、燃料洩れ、損傷、変形などの異常がないことを確かめてください。特に刈刃及び刈刃取付部は入念に点検してください。

●刈刃の部分の装置が損傷している場合、あるいは刈刃が著しく摩耗している場合は機械を使用しないでください。

●機体の保持部（ハンドルグリップ）や保護装置がすべて正しく取り付けられていることを確認してください。

■ エンジン始動時の注意事項

●エンジンを始動する時は周囲（15m以内）の安全をよく確かめてください。

●本製品は遠心クラッチを装備しているため、スロットルレバーを「始動」位置にセットしてエンジンをかけると始動と同時に刈刃が動き始め始動時は機体を地上において、刈刃やスロットルレバーが地面や周囲の障害物に触れないよう機体をしっかり押えてください。

●スロットルレバーを「高速」位置にしてエンジンを始動しないでください。

●エンジン始動後、スロットルレバーを完全に戻した状態で、刈刃が動かないことを確かめてください。
刈刃が動き続ける場合はエンジンを停止し、スロットルワイヤ他の点検整備を行なってください。（本文9・21ページ参照）

正しくお使いいただくために

■ 作業時の注意事項

●作業時は機体の握り部（ハンドルグリップ）を両手でしっかり握り、両足は均等に体重がかかるように肩幅より少し広めに開いて、 常に安定した姿勢をとるようにしてください。

●エンジンの回転は作業に必要な範囲に保ち、不必要に上げないでください。

●雨中や雨上がり後は、足下が滑りやすいので、十分注意してください。

●刈刃に草などが咬み込んだ場合は、必ずエンジンを停止してから取り除いてください。.

●作業中に後方から声をかけられた場合は、振り向く前に必ずエンジンを停止してください。

●電気ショックを受ける恐れがありますので、エンジン運転中はスパークプラグやコードに触れないでください。

●高温によるヤケドの恐れがありますので、エンジン運転中および停止直後は素手でマフラなどの金属部に触れないでください。

●作業を中断して移動するときは、エンジンを停止し、刈刃にカバーを取り付け、刈刃を前向きにして持ち運んでください。

●運搬中の衝撃で燃料が漏れ出す恐れがありますので、燃料タンクに燃料を入れたまま長時間悪路上を運搬しないでください。

■ 整備上の注意事項

●製品の機能を維持するため、定期的に本書記載の点検整備を実施してください。本書に記載されていない整備や部品交換が必要な場合は、お買い上げ店または最寄りのゼノア製品取扱店にご相談ください。

●製品の改造や分解等はしないでください。運転中に機体が破損、または正常な操作が出来なくなる危険があります。

●点検整備時は、必ずエンジンを停止してください。

●エンジン停止直後は、素手でマフラやスパークプラグに触れないでください。
高温のため火傷の危険があります。

●刈刃の着脱や研ぎ直しをするときは、けが防止のため丈夫な手袋を着用してください。

●刈刃などの交換用部品や補充用油脂類は、 必ず当社純正品または当社指定銘柄品を使用してください。

正しくお使いいただくために

■ 警告ラベルとその取扱い

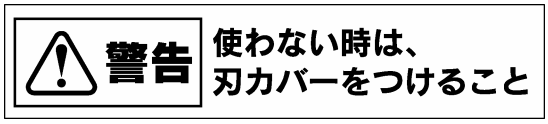
①

取扱説明書
を読むこと

刈刃に注意
手を触れないこと

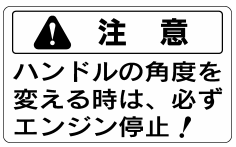
保護メガネ
を着用のこと

②

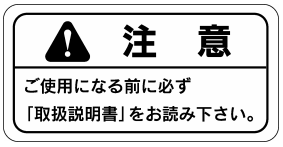


【貼付位置】

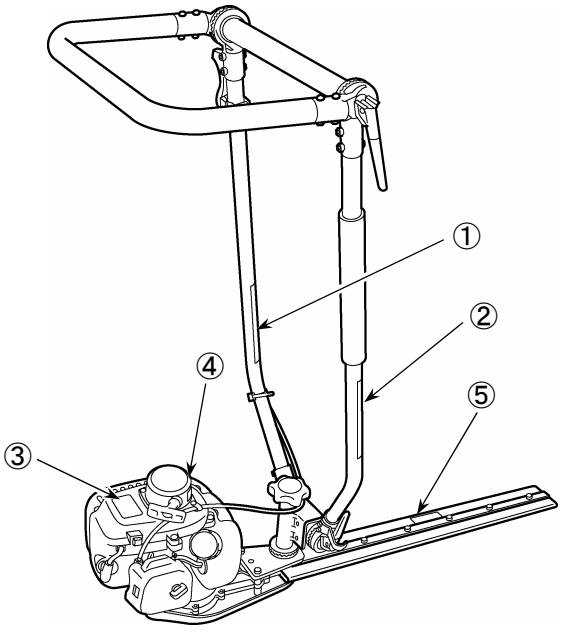
③ 品番 1787-31130



④ 品番 5604-91190



⑤ 品番 5604-91190



【ラベルのメンテナンス】

（1）警告ラベルは、いつもきれいにして傷つけないようにしてください。

（2）警告ラベルが汚損したりはがれた場合はお買い上げの販売店に注文し、新しいラベルに取り替えてください。

（3）新しいラベルを貼る場合は汚れを完全にふき取り、乾いた面にして元の位置に貼ってください。

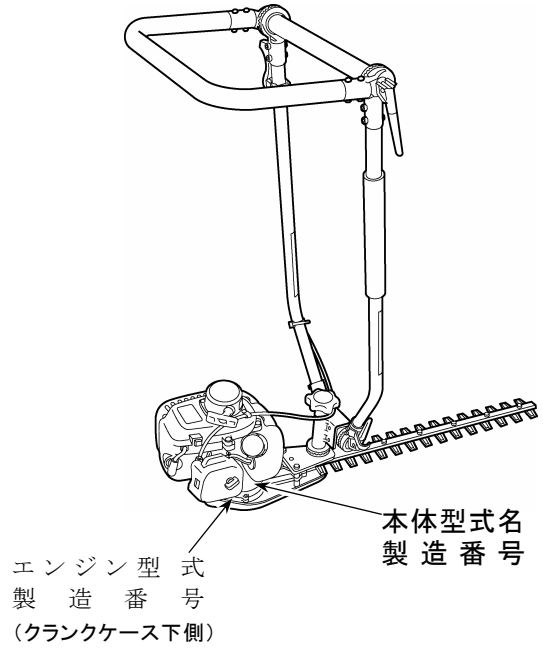
サービスと保証について

ご相談窓口

本製品に関するお問い合わせや消耗品のお求め、サービスのご用命は、お買い上げいただいた販売店で承ります。

お問い合わせの際は型式名と製造番号（下図参照）をご連絡ください。

製品・技術・その他に関してお気付きの点やご意見等ありましたらお気軽に弊社営業窓口（裏表紙記載）にお寄せください。



保証書について

本製品には、保証書を別途添付しております。保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ日・型式名・製造番号」の記入押印をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

補給部品の供給年限について

本製品の補修部品の供給年限は、製造打切後８年です。

ただし、供給年限内であっても特殊部品につきましては、納期等についてご相談させていただく場合もあります。

補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

⚠警告	**機械の改造は危険ですので、改造しないでください。 改造した場合や取扱説明書に述べられた正しい使用目的と異なる場合は、メーカー保証の対象外になるのでご注意ください。**

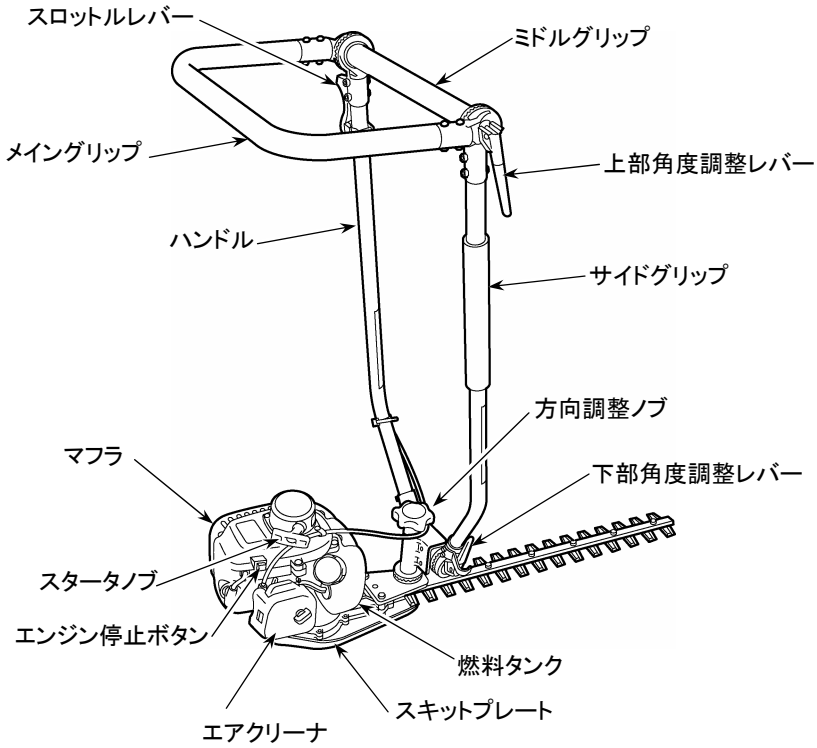
製 品 主 要 諸 元

名　称　・　型　式			ゼノア 畦草トリマ RHT2310
本体乾燥質量（※）		kg	7．5
外形寸法	全　長	mm	765
	全　幅	mm	365
	全　高	mm	1065（最高）
燃料タンク容量		L	0．6
作業機	動力伝達方式		遠心クラッチ、平歯車減速（減速比　4．14：1）、カムクランク
	有効刈幅	mm	455
	歯数×間隔		上下各15枚×35mm
エンジン	形　式		単気筒空冷2サイクルガソリンエンジン
	排　気　量	cm^3	22．5
	使用燃料		潤滑油混合ガソリン （混合比：ゼノア純正オイル（FD 級）使用時　50：1 ゼノア純正オイル（FC級）使用時　40：1）
	使用潤滑油		2サイクルエンジン専用オイル
	キャブレタ		ダイヤフラム、ロータリーバルブ式
	点火方式		IC制御フライホイルマグネト
	スパークプラグ		チャンピオン　RCJ-6Y
	始動方式		リコイルスタータ式
	停止方式		点火回路一次側短絡式（押しボタン）

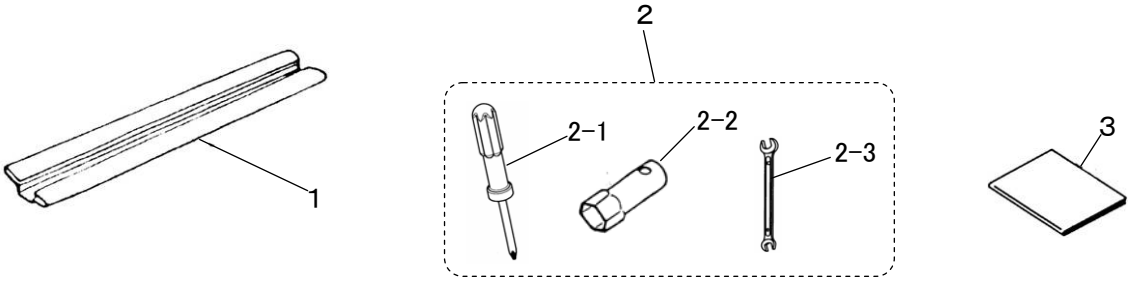
（※）燃料、刈刃カバーを除く

■改良などにより商品の細部仕様が本書記載内容と異なることがあります。ご了承ください。

各　部　の　名　称



標　準　付　属　品



図番号	部品番号	品名	数量	図番号	部品番号	品名	数量
1	6843-91140	刈刃カバー	1個	2-2	1110-91320	ソケットレンチ	1個
2	1111-91003	ツールセット	1個	2-3	3450-91120	スパナ	1個
2-1	1030-91340	ドライバ	1個	3	115477679	取扱説明書※	1冊

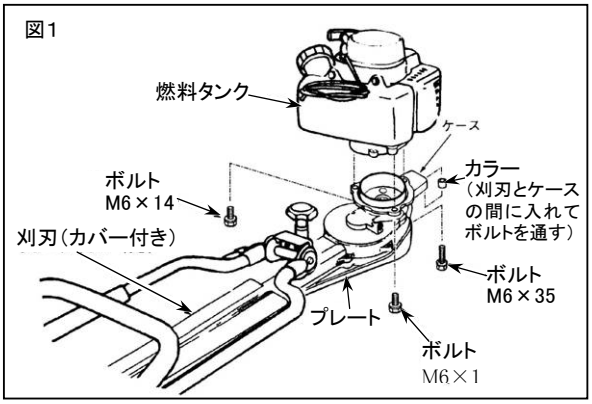
※保証書が挟み込まれています。

組　　立

■ エンジンの取り付け

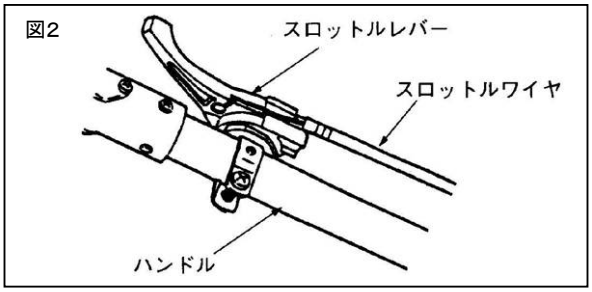
⚠ 警 告	エンジン取り付け時は、必ず刈刃カバーを装着してください。刈刃カバーを付けずに取り付け作業を行なうと、刈刃で負傷する恐れがあります。

図1



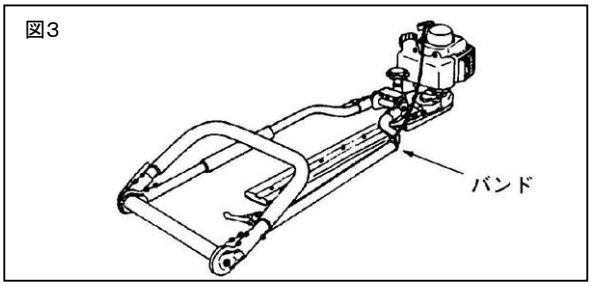
1. エンジンを本体の取付部にに乗せ、燃料タンクが刈刃側になるように向きを合わせてください。
2. 付属のボルト（M6×14×2本、M6×35×1本）とカラーでエンジンを確実に固定してください。

図2



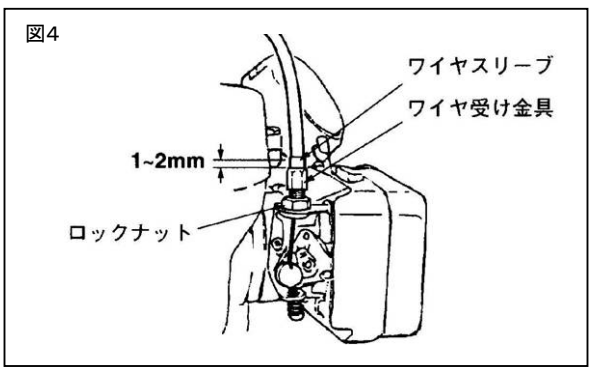
3. 付属のスロットルレバーを、サイドグリップがない方のハンドル上部にとリルケ手ください。
4. スロットルワイヤをハンドルに沿って延ばし、先端部をスロットルレバーの窪みにはめてください。

図3



5. スロットルワイヤを付属のバンドでハンドル下部に固定してください。

図4



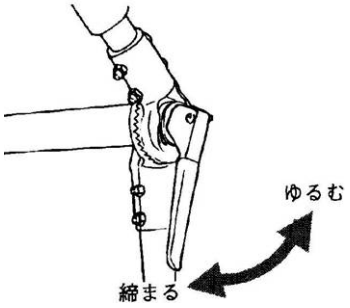
6. スロットルワイヤの遊びは、１～２㎜ が適当です。スロットルレバーを完全に戻してから、エンジン側のワイヤスリーブを指でつまんで軽く引いてみて、遊びが大きすぎたり小さすぎる場合は、ワイヤ受け金具の位置を再調整してください。（図５）ロックナットをゆるめ、ワイヤ受け金具を右に回すと遊びが大きくなり、左に回すと遊びが小さくなります。調整後はロックナットを右に回してワイヤ受け金具を締め付けてください。

ハンドルの調整

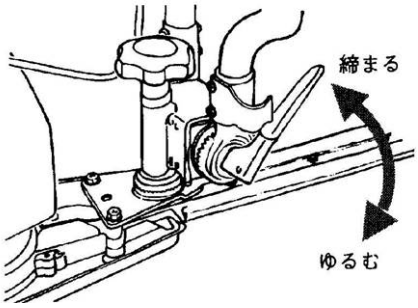
⚠ 警 告	ハンドルの調整は、必ずエンジン停止状態で行ってください。エンジンをかけたままハンドルを動かすとスロットルワイヤが引かれ、エンジンの回転が上がって刈刃が動き出す恐れがあり、非常に危険です。あります。

図5

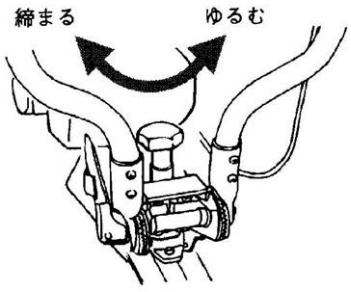
ハンドル上部調整レバー



ハンドル下部調整レバー



ハンドル向き調整レバー



RHT2310のハンドルは、工具を使わずに向きの調整が可能です。作業条件に応じて使いやすい位置にしてお使いください。

○ハンドルの高さ調整は、上下２ヶ所の調整レバーで行います。噛み合い部は、調整レバーを引き起こすとゆるみ、倒すと締まります。

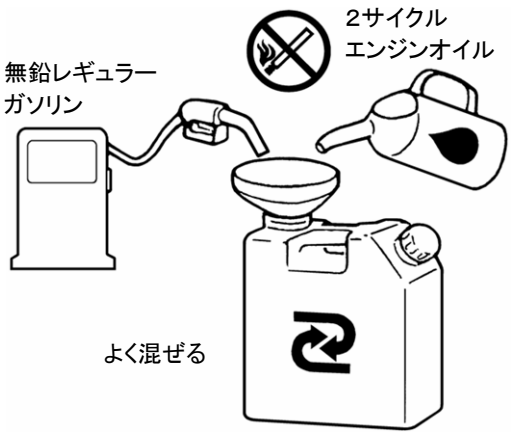
○ハンドルの向きは、最下部で左右方向に変えられます。調整ノブを左に回すとゆるみ、右に回すとと締まります。

燃　　料

⚠ 危 険	● 燃料は非常に引火しやすいため取扱いを誤ると火災事故の原因となります。また、気化した燃料は爆発して死傷事故を起こす恐れがあります。 ● 燃料の混合時は必ず火気を遠ざけ、タバコは吸わないでください。 ● 混合作業は屋外で行ってください。 ● 刈払機や燃料容器を、たき火やバーナーなどの火気の近くに放置しないでください。

重 要	● オイルが混合されていないガソリン（生ガソリン）を使うとエンジンが焼き付きます。給油時は燃料が正しいか確かめてください。 ● 燃料は紫外線や高温に長時間さらされると変質劣化し、始動不良や出力不足などの原因になります。混合した燃料は、30日以内を目安に使い切るようにしてください。 ● 水が混入した燃料を使うと、キャブレタやエンジンの内部が腐食します。刈払機や燃料容器に水がかからないようにしてください。 ● 4サイクルエンジン用オイルや水冷2サイクルエンジン用オイルは使わないでください。スパークプラグ汚損やピストンリング固着、マフラ詰まりなどを起こしやすくなります。

図6



燃料は、自動車用無鉛ガソリンと空冷２サイクルエンジン用オイルを下記割合で混合容器に入れ、容器を振ってよく混ぜ合わせたものを使用してください。

混合比

□ゼノア純正2サイクルオイル（FD級）使用時　**50：1**
（ガソリン１Ｌに対しオイル20mL）

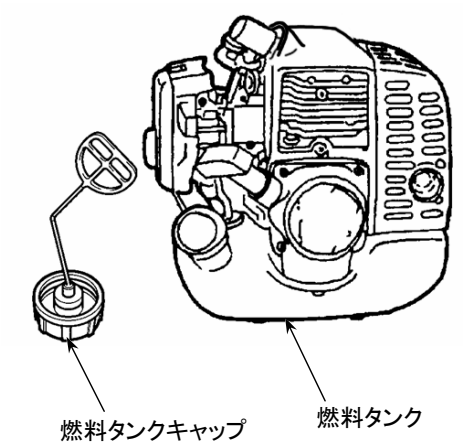
□ゼノア純正2サイクルオイル（FC級）使用時　**40：1**
（ガソリン１Ｌに対しオイル25mL）

給　　油

⚠ 危 険	● 燃料タンクへの給油は屋外の平坦な場所で行ってください。 給油時は火気を遠ざけタバコは消してください。 ● 作業の途中で給油する場合は、必ずエンジンを停止し、冷えてから行ってください。 ● 燃料キャップは確実に締め付けてください。 ● 給油時にこぼれた燃料はエンジンを始動する前に布でよくふき取ってください。

重 要	燃料タンクへの給油量は、8分目を目安にしてください。 燃料を入れ過ぎると、運転時にタンクキャップから燃料がもれる恐れがあります。

図7



1. 給油する機械を屋外の平坦な場所に置き、安定させてください。
2. 燃料タンクのキャップを少しゆるめ、燃料タンク内と外部の気圧差を取り除いてください。
3. 燃料タンクのキャップを取り外し、８分目を目安に少しずつ給油してください。
4. 給油が終わったらタンクキャップを確実に締め付けて、燃料漏れのないことを確認してください。

― ゼノア純正　ビッグバンガソリン ―

ゼノア純正混合ガソリン「ビッグバンガソリン」は、運転休止期間の長いエンジン機器用に開発された２サイクルエンジン専用の混合燃料です。

◎変質しにくい特殊ガソリンの採用でキャブ詰まり追放
◎エンジン内部を摩耗や汚れから守り、排気をきれいにする各種添加剤配合
◎混合の手間不要
◎給油・持ち運び・保管に便利な金属容器入り

などのすぐれた特長を持っており、運転休止の直前にお使いになるだけで運転再開時のエンジントラブル予防効果を発揮します。

詳しくはお買い上げ店にお問い合わせください。

エンジンのかけかた

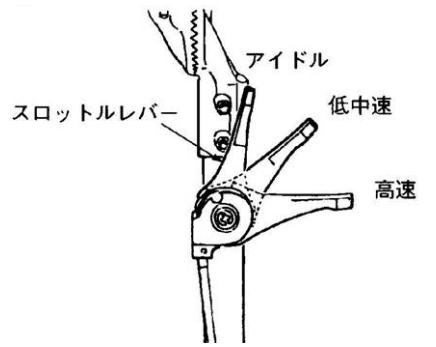
⚠ 危 険	● 燃料の補給後エンジンを始動する場合は、機械を給油した場所から3m以上離れた場所に移してから始動してください。 給油した場所で始動すると引火による火災の恐れがあります。 ● 室内や換気の悪い場所ではエンジンを始動しないでください。 人体に有害な一酸化炭素中毒の恐れがあります。

⚠ 警 告	● エンジンの始動、停止時、移動時は常にスロットルレバーをアイドリング位置にしてください。レバーがアイドリング位置以外になっていると、刈刃が動き始めてしまうので非常に危険です。

⚠ 注 意	● 始動前に機体各部を点検し、ハンドル取付部のゆるみやスロットルレバーの作動不良、刈刃取付部のゆるみや燃料漏れなどの異常がないことを確かめてください。 ● 始動時は機体を地面に置いて確実に保持してください。刈刃が地面や周囲の障害物に触れる危険がありますので、機体を片手で持上げたまま始動しないでください。 ● スロットルレバーを引いた状態でエンジンを始動しないでください。 始動と同時に刈刃が動き始めますので非常に危険です。始動時は機体を安定した地面におき、刈刃の周囲から障害物を遠ざけてください。 ● 始動時は刈刃が地面に触れないようにし、周囲の障害物を遠ざけてください。 ● エンジンがかかったら刈刃が動かないことを確認してください。 刈刃が動き続ける場合は、エンジンを停止してスロットルワイヤおよびキャブレタのアイドル調整スクリュを点検してください。 ● 運転時は常に両手でグリップ部を握り、刈刃から目を離さないでください。 ● 火傷の恐れがありますので運転中および停止直後はエンジン本体やマフラの金属部に触れないでください。 ● 感電によるショックを受けることがありますので運転中はスパークプラグやプラグコードに手を触れないでください。

重 要	チョークを閉じたまま始動操作を繰り返すと、スパークプラグの電極がぬれてエンジンがかからなくなることがあります。 このような場合は、チョークを開き、スロットルレバーを全開に近い位置にセットしてからスタータロープを繰り返し引くか、スパークプラグを取り外して電極を乾かしてから始動操作をやり直してください。

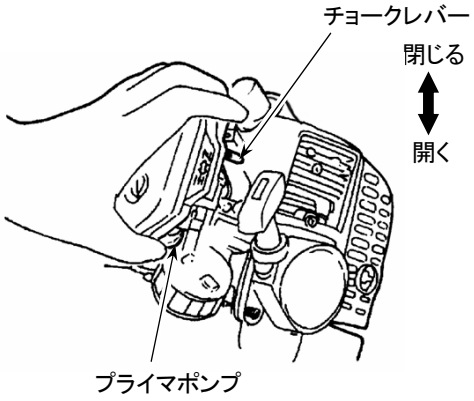
図8



1. スロットルレバーをアイドリング位置にセットしてください。

補足 **エンジン停止直後に再始動する場合は、スロットルレバーをアイドリング位置にしたままロープを引いてください。**

図9



2. キャブレタ下部のプライマポンプでキャブレタに燃料を満たします。燃料が透明なパイプを通ってタンクに戻り始めるまで、ポンプを指で押して離す操作を繰り返してください。

補足 **タンクに燃料が残っている状態でエンジン停止直後に再始動する場合にはポンプ操作は必要ありません。**

3. エアクリーナ右側のチョークレバーを上げてチョークを閉じてください。

補足 **エンジン停止直後に再始動する場合はチョークを開いたままスタータロープを引いてください。**

4. 機体を安定した地面に置き、刈刃の周囲の安全を確かめてから、左手でクラッチハウジングを押えながら右手でスタータノブを引いてください。

重要 **スタータ故障の原因となりますので、ロープを最後まで引き出したり、ノブから手を離して戻したりしないでください。**

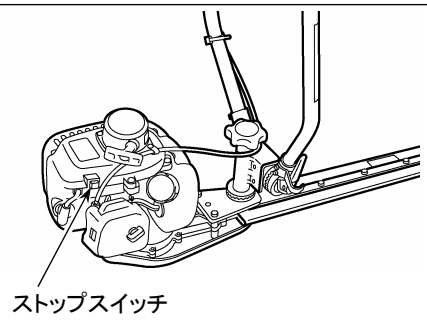
5. エンジンが始動したらチョークを徐々に開いてください。

6. 本格運転前に2～3分間低速で暖機運転してください。

エンジンのとめかた

⚠ 注 意	● 緊急時は直ちにエンジンの停止操作をしてください。 ● エンジン停止直後は、マフラやスパークプラグに素手で触れないでください。 高温のため火傷の危険があります。

図10



1. スロットルレバーを完全に戻してください。
2. ストップスイッチをエンジンが完全に停止するまで押し続けてください。

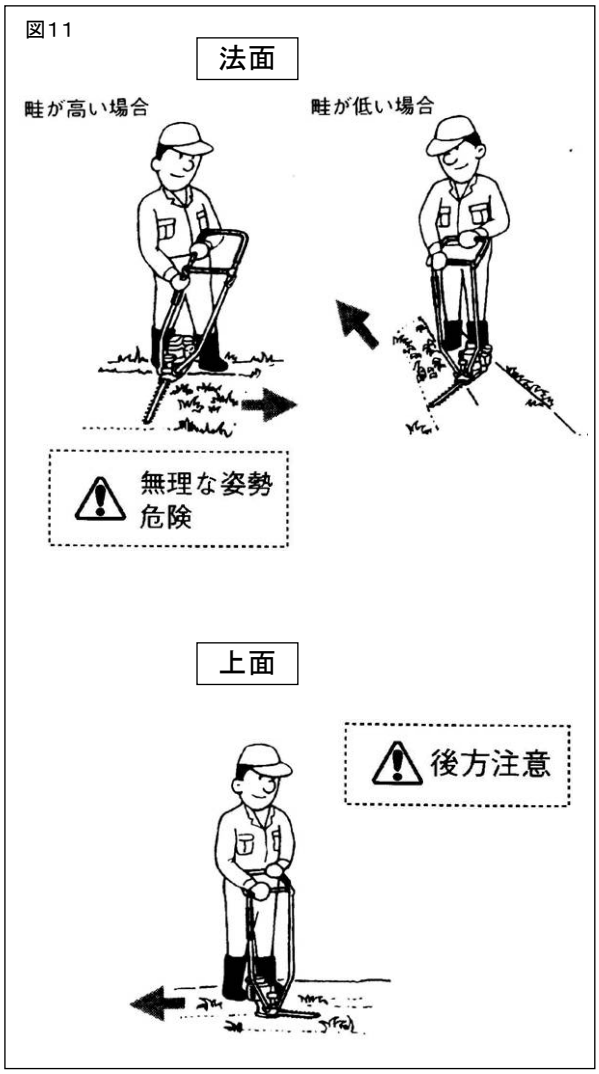
操 作 方 法

⚠ 警 告	●エンジンをかける前に、機体各部を点検し、ネジ類のゆるみやカバー類の破損、燃料漏れ、スロットルレバーの作動不良の異常が発見された場合は、使用を中止して完全に整備してください。 ●エンジン始動後、スロットルレバーを戻しても刈刃が動き続ける場合は、ただちにエンジンを停止してスロットルワイヤが何かに引っかかっていないかを点検してください。スロットルワイヤに異常がない場合は、アイドル回転数が高すぎますので再調整してください。(14 頁参照) ●使用中は、常に両手でハンドルのグリップ部を握り刈刃部から目を離さないでください。 ●後退しながら草を刈る場合は、足場を確保し、障害物がないことを確かめてください。足場が悪かったり障害物のある場所では、後退作業はしないでください。 ●作業中に、後方から声をかけられた場合は、エンジンを停めてから振り返ってください。 ●ハンドルの調整や噛みついた草等の除去は、必ずエンジンを停止してから行ってください。 ●降雨や雷、日没、急斜面など作業環境が悪化した場合は、ただちに作業を中止してください。

■ 作業手順

⚠ 注 意	● エンジン回転を必要以上に上げて、長時間運転すると、神童により機体の早期摩耗を招くことがあります。逆にエンジン回転数が低すぎると草を咬み込みやすくなり、クラッチに無理がかかることがあります。 ● RHT2310 は、太さ1cm 程度の笹竹や灌木も切れますが、切断時の衝撃により刈刃や駆動装置に無理がかかりますので出来るだけ避けてください。 ● 刈刃部を地中に食い込ませたり水中に入れてお使いになると刈刃簿早期摩耗や駆動装置の故障を招くことがありますのでご注意ください。があります。

図11



1. 使用場所の条件に合わせて、ハンドルの高さと向きを操作しやすい位置に調整してください。
2. エンジンをかけ、スロットルレバーをゆっくり引いてエンジン回転を上げてください。刈刃が動きは始めます。
3. 作業負荷（草の堅さ、密生度合いなど）に応じて適切なエンジン回転（目安：スロットル半開～４／３開）でお使いください。

点　検　整　備

⚠ 注 意	● 点検整備時は必ずエンジンを停止してください。 ● 機体の改造やエンジンの分解はしないでください。 ● 部品交換時は純正部品または指定品を使用してください。 ● ご自身で点検整備できない場合は、お買い上げ店に依頼してください。

■ 作業前後点検

作業前後に次の点検を行ってください。

点検項目			処置
1	作業機	・取付部トゆるみ ・刈刃のスキ間 ・刃先磨耗	・締め付け ・調整（17頁参照） ・研ぎ直しまたは交換
2	スロットルレバー	・動きが悪い	・修理または交換
3	スロットルワイヤ	・遊び過大/過小 ・動きが悪い	・修正（20頁参照） ・修理または交換
4	エンジン取付部	・ゆるみ	・締め付け
5	燃料タンク	・取り付部ゆるみ ・燃料パイプ損傷 ・キャップパッキン損傷	・締め付け ・交換 ・交換
6	マフラ	・取付部ゆるみ ・排気ガス出口の詰まり	・締め付け ・マイナスドライバーなどで詰まりを取り除く

■ 定期点検

下記の使用時間毎に点検を行ってください。

点検整備項目		実施間隔				備考
		20時間毎	25時間毎	50時間	100時間毎	
エンジン	シリンダフィンのゴミ除去		○			
	エアクリーナエレメントの清掃		○			
	スパークプラグの清掃と調整		○			スキマ 0.6～0.7mm
	燃料タンクの清掃			○		
	シリンダ取付ボルトの増締め				○	
	エンジン各部の増締め				○	
	マフラカーボン落し				○	
本体	ギヤケースグリース補給	○				
	クラッチドラム汚れ除去				○	

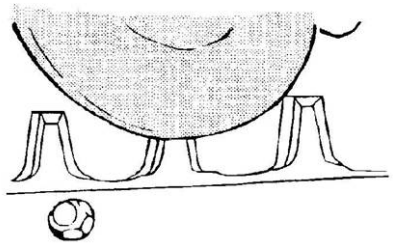
■ 刈刃の手入れ

⚠ 警 告	刈刃で負傷するおそれがあります。 ●エンジンをかけたまま、刈刃の点検整備をしないでください。 ●点検整備時は革手袋を着用してください。ください。

●一日の作業が終わったら、刈刃に付いた汚れをワイヤブラシなどでよく落とし、表面に防錆油を薄く塗ってください。

●刃先が鈍くなっている場合は、平ヤスリか小型のディスクサンダで研ぎ直してください。

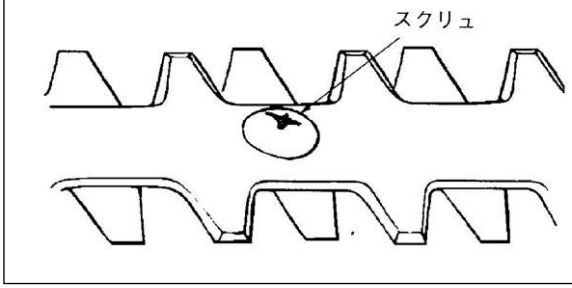
図12



〔研ぎ方〕

1. いったんエンジンをかけて低速で刈刃を動かし、上下の羽が約2mm ずれた位置でエンジンを停止してください。
2. 機体を確実に固定した後、上側(下側)の刃の出ている側を平ヤスリまたは小型のハンドグラインダーで一通り研いでください。次に下側(上側)の出ている側を同様に研いでください。
3. 再びエンジンをかけ上下の刃が **1.**と逆方向に約2 mm ずれた位置でエンジンを停止してください。
4. 上下それぞれ出ている側を **2.**の要領で多おいでください。
5. 最後に上下ぴったり重なる位置にして先端部を研いでください。

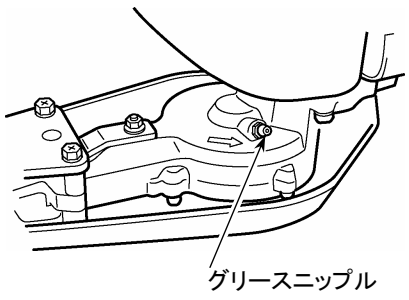
図13



注意 上下の刈刃を押さえているスクリュの締め代が不適切ですと、草を咬み込みやすくなったり機体各部の早期摩耗を招くことがありますのでご注意ください。整備の場合などでスクリュをゆるめた場合は、いったん完全に締め込んでから 1/2 回転戻した位置でスクリュを固定し、裏側からロックナットで締め付けてください。

■ ギヤケース

図14



２０時間使用毎を目安に、ギヤケースに潤滑用グリースを補充してください。

補充時はグリースガンの先をグリースニップルにあてがい、ギヤケース先端部（刈刃根元）からグリースが出始めるまで注入してください。

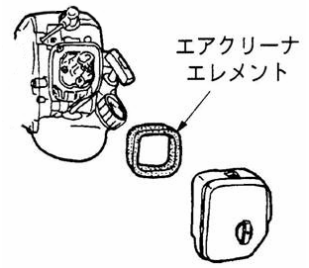
指定グリース

ゼノア純正グリース品番：3180-96250(100g 入り)
またはリチウム系耐熱用グリース（＃2）

■ エアクリーナ

重 要	エアクリーナエレメントが詰まるとエンジンの出力が低下し、燃費が悪化します。 また、エレメントを外して運転したり、変形・破損したエレメントを付けて運転を続けるとエンジン内部が異常摩耗します。

図15



２５時間使用毎を目安に、エアクリーナカバーを取り外して内部のゴミを取り除いてください。

エレメントの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りの温湯でていねいに洗い、よく乾燥させてから元通り取り付けてください。

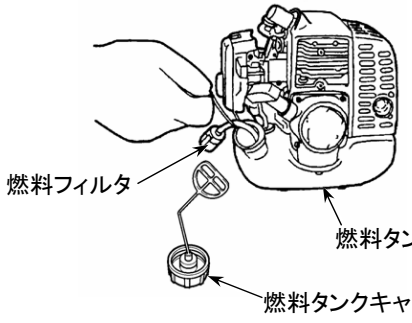
エレメントが変形・破損した場合は新品と交換してください。

■ 燃料フィルタ

⚠ 注 意	● 運転中は、プラグガードを取り外したり、冷却用空気取入口に物を差し込んだりしないでください。回転部品に触れる恐れがあり危険です。 ● 点検の際は、必ずエンジンを停止させた状態で行ってください。

重 要	燃料フィルタが詰まるとエンジン回転が上がらなかったり、回転変動を起こしたりします。

図6



２５時間使用毎を目安に、燃料タンクから燃料フィルタを取り出し、ゴミを取り除いてください。

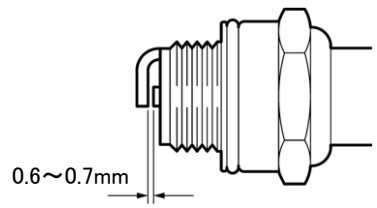
汚れや詰まりがひどい場合は新品と交換してください。

■ スパークプラグ

⚠ 注 意	エンジン停止直後は素手でスパークプラグにさわらないでください。 高温のためやけどを負う恐れがあります。

重 要	● スパークプラグの締め付けが強過ぎるとシリンダのネジ部が破損することがあります。プラグ締付け時は必ず付属のプラグレンチを使用してください。 ● 燃料を吸い込み過ぎたり、オイルの質が悪かったりするとスパークプラグの電極が汚れ、エンジンがかかりにくくなることがあります。 ● プラグ交換時は指定品を使用してください。指定外品を使用するとシリンダやピストンが破損することがあります。

図17



２５時間使用毎を目安に、スパークプラグを取り外して電極を点検し、汚れている場合はワイヤブラシなどで取り除いてください。

● プラグ取り付け時は、まず指でねじ込み、最後に付属のプラグレンチで締め付けます。
【締め付けトルク】
15．3～22．4N･m {150～220kgf-cm}

重要 初めからプラグレンチで締め込むとねじ山が破損する恐れがあります。

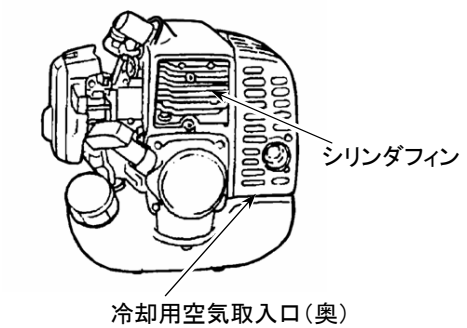
● プラグ交換時は指定品を使用してください。

指定スパークプラグ	チャンピオン RCJ6Y またはNGK BPM7A

● 電極間隙は0．6～0．7mmが適当です。

■ 冷却用空気通路

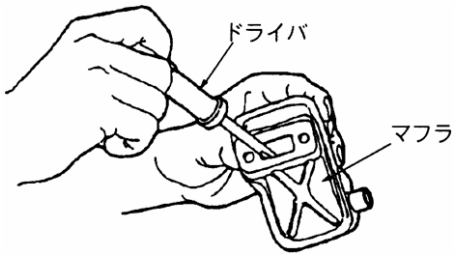
図18



２５時間使用毎に冷却用空気取入口やシリンダの冷却フィン回りを点検し、付着したゴミを取り除いてください。

■ 100時間使用毎の手入れ

図19

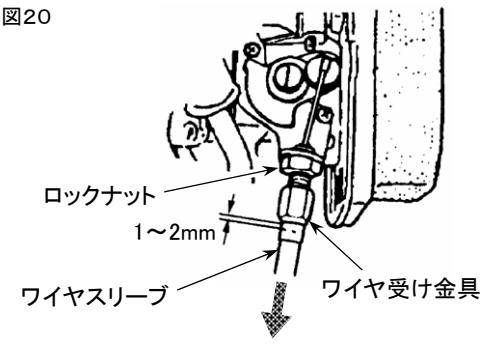


1. マフラを外して、排気口にドライバを入れてカーボンを落してください。同時にマフラ出口のカーボンも落してください。
2. 各締め付け部の増締めを行なってください。
3. クラッチのライニングとドラムの間に油がついていないか点検し、油がついている場合は、オイルの混ざっていない無鉛ガソリンで拭いてください。

■ エンジンの調整

重 要	キャブレタは精密部品のため、分解整備には知識と技能が必要です。本書で説明している調整を行ってもエンジンの調子が思わしくない場合は、お買い上げ店にご相談ください。

図20

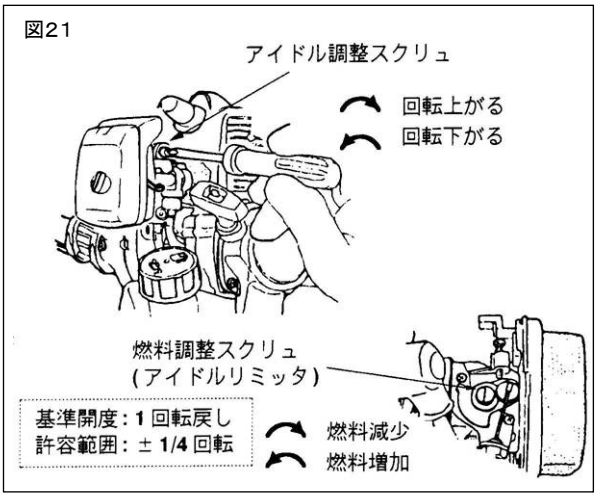


スロットルワイヤの遊びは、1～2mmが適当です。遊びが大き過ぎたり小さ過ぎる場合は、ワイヤ受け金具の位置を再調整してください。
ロックナットをゆるめ、ワイヤ受け金具を右に回すと遊びが大きくなり、左に回すと遊びが小さくなります。調整後はロックナットを右に回してワイヤ受け金具を締め付けてください。

〔アイドル調整スクリュ〕

スロットルレバーを完全に戻したときに刈刃が動き続けたり、エンジンが止まってしまう場合はアイドル調整スクリュを再調整してください。

図21



スクリュを右（時計回り）に回すと回転が上がり、左（反時計回り）に回すと回転が下がります。

〔燃料調整スクリュ〕

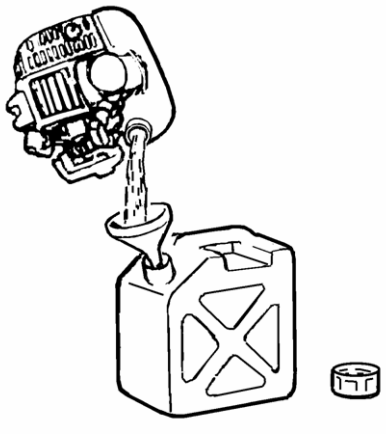
燃料調整スクリュは出荷時に調整されています。通常は調整の必要はありませんが、運転条件の変化等により燃料消費が増えたり加速が悪くなった場合は、いったん締め込んでから基準開度に戻してエンジンをかけ、許容範囲内でエンジンの調子が最も良くなる位置（アイドリング時に刈刃が動かず、かつエンジンの回転が安定すること。また、加速時もたつきのない状態）にセットしてください。

■ 長期保管時の手入れ

⚠ 危 険	引火による火災の恐れがあります。 ● 燃料抜き取り時は、火気を遠ざけてください。 ● 燃料をこぼさないように注意し、こぼれた燃料は完全にふき取ってください。

重 要	● 長期間（2ヵ月以上）使用しない場合は、燃料タンクとキャブレタから燃料を抜いてください。燃料を入れたまま長期間放置すると燃料が変質してキャブレタ内部が詰まり、エンジン故障（始動不良や出力不足）の原因となります。 ● 保管時は、燃料タンクのキャップをゆるめにしてください。強く締め過ぎると経時変化によりパッキンが変形することがあります。

図22



1. 機体の汚れを落としながら、各部の損傷やゆるみなどの有無を点検し、異常が発見された箇所は次回の使用に備え完全に整備してください。
2. 燃料タンクから燃料を容器に移した後、燃料フィルタを引き出してください。
3. キャブレタのプライマポンプを燃料が出なくなるまで押し、燃料タンクに戻った燃料を容器に移してください。
4. 燃料フィルタをタンクに戻し、燃料タンクキャップを取り付けてください。
5. エンジンを始動し、自然に止まるまで運転してください。
6. スパークプラグを取り外し、２サイクルオイルを 1～2mL エンジン内に入れてください。
   スタータロープを２～３回引いてからプラグを元通り取り付け、圧縮位置で止めてください。
7. ギヤケースにグリースを補給し、スロットルワイヤなどの金属部に防錆油を塗布してください。
8. 刈刃に軽くオイルを塗布してカバーを取り付け、屋内の火気や湿気のない場所に保管してください。

故障のときは

現　　象	主　な　原　因	処　　置
エンジンが始動しない	・燃料不良（異質、劣化）	・正規燃料と交換（11・12頁）
	・燃料吸い込み過ぎ	・チョークを開き、スロットルを全開にしてロープを繰り返し引く（13頁）
	・ エンジン停止スイッチまたリード線アース	・修理（★）
	・マフラ排気出口詰まり	・詰まり除去（21頁）
	・スパークプラグ電極汚損、短絡、断線	・電極清掃またはプラグ交換（20頁☆）
停止スイッチを操作してもエンジンが止まらない	・スイッチコード接続不良またはリード線断線	・修理（★）
エンジンが加速しない	・燃料不良（異質、劣化）	・正規燃料と交換（11・12頁）
	・マフラ排気口詰まり	・マフラ清掃（21頁）
スロットルを戻すとエンストする	・アイドリング回転数が低すぎる	・再調整（21頁）
エンジンの回転が変動する	・燃料フィルタ目詰まり	・燃料フィルタ清掃または交換（19頁☆）
枝葉を咬み込みやすい切り口がきたない	・ 刈刃切れ味低下	・研ぎ直し（18頁）
	・ 上下の刈刃スキ間	・ スキ間調整（18頁）
燃費悪化	・エアクリーナ目詰まり	・エアクリーナ清掃（19頁）
	・刈刃切れ味低下	・研ぎ直し（18頁）

・上記処置を講じても現象が改善しない場合や、上記以外の不調現象が生じた場合は、お買い上げ店にご相談ください。

・☆印のついている処置につきましては、お買い上げ店で純正部品をお求めください。

・★印のついている処置につきましては、お買い上げ店にご依頼ください。

⚠ 危 険	● 機械の改造や分解等はしないでください。運転時に機体が破損したり、燃料漏れや作動不良による不測の事故を招く恐れがあります。 ● 点検処置時はタバコなどの火気を遠ざけてください。燃料に引火する恐れがあります。 ● 機体各部の締結部品（ボルト、ナット、ネジ類）は必ず純正品または指定品を使用してください。規格外品を使用すると、使用中に機体が破損したり部品が脱落したりして不測の事故を招く恐れがあります。

ZENOAH®

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買い上げの販売店へお申し出ください。

製品・技術・その他のお問い合わせ

ハスクバーナ・ゼノア株式会社　国内営業本部

ナビダイヤル® **0570-084987**

月～金/9:00～17:00（土日祝、弊社指定休業日は除く）

http://www.zenoah.co.jp/

ハスクバーナ・ゼノア株式会社

本社：〒350-1165　埼玉県川越市南台1-9

（平成 24 年 3 月現在）

115477679（E0/A1203）PRINTED IN JAPAN